

B表

No.

利用者

サービス提供の際に必要な健康状態の情報(副作用を注意すべき薬や急変の可能性のある病状、禁忌事項など)を記入する。プライバシーであるため記入の仕方、内容には十分配慮すること。

介護予防サービス・支援

基本チェックリストの結果(本人の主観を記載)を分数の表記で転記する。判定基準を参考にしながらアセスメントし、事実と主観が異なる場合などは「現在の状況」にアセスメント内容で活かす。また、専門職による短期集中予防サービスを利用する場合は、利用が望ましいと考えられるプログラムの枠内の数字に○をつける。

【健康状態について 主治医意見書、生活機能評価等を踏まえた留意点】

本人の主観と専門職(ケアマネ等)の客観的なアセスメントの両方を記載。できている・できていないを明確化し、生活全体を見る意識を忘れずに。5つの分野にしてあるが内容が重複している場合は割愛しても良い。

運動器の機能向上	栄養改善	口腔機能の向上	予防	物忘れ予防	うつ予防

現在の状況	本人・家族の意欲・意向	背景・原因	総合的課題	課題に対する目標と具体策の提案	具体策についての本人・家族の意向
<p>運動・移動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自ら行きたい場所に移動するための手段がとれるかどうかを確認する●自宅や屋外の歩行状況や交通機関を使って移動することについての状況等 	<ul style="list-style-type: none"> ●現在の状況について、利用者・家族の認識と意向を記載「○○できるようになりたい」「○○をやりたい」と記載し、誰の意向かを明確にし、その理由について確認●利用者や家族の意向が異なった場合にはそれぞれ記載 ●家族が言っている事で、本人が傷つく言葉はそのまま書かない ●否定的ないし、消極的な意向であった場合は、その意向に対し、直ちにプランを立てるのではなく、なぜ消極的、否定的なのかという理由を明らかにする 	<p>□有 □無</p> <ul style="list-style-type: none"> ●現在の状況の各項目における生活上の課題とその背景・原因を整理し分析する ●現在の課題と、このままにしていると将来の課題になる場合は『□有』にチェック 『□無』の場合はコメントは不要 ●分析は、面談中の様子、利用者基本情報、主治医意見書等の情報を基に、健康状態・心理・価値観・習慣・物的環境・人的環境・経済状況等の観点から整理し、基本チェックリストの結果についても考慮する 	<ul style="list-style-type: none"> ●利用者にとって優先順位の高い順に課題を挙げ、番号を付けていく ●複数の領域に課題があったとしても、その課題の原因・背景などが同一の場合、統合して目標や具体策を立てたほうが利用者の全体像を理解し、より根本的な課題を引き出すことができる ●支援の必要性を明確にするために課題だけを記載意向や目標・具体策は記載しない 	<ul style="list-style-type: none"> ●総合的課題に対して目標と具体策を記載する ●目標は、利用者や家族に対して、専門家として示す提案であり、評価可能で具体的なものとする ●具体策は、介護保険サービスだけではなく生活機能低下を予防するためのセルフケアや家族の支援、地域のインフォーマルサポートなどの活用についても記載する ●右欄で同意が得られた場合にはここで提案した「目標と具体策」がC表の「目標と支援内容」につながる例) 【目標】(3ヶ月後には)一人で○○まで歩いて行かれるようになる【具体策】①○○を利用して××を行う②誰々が○○を行う③… 	<ul style="list-style-type: none"> ●左欄の提案について利用者や家族の意向を確認して記載する ●具体策について単に意向を聞くだけでなく、その理由や根拠について把握し記載する ●ここでの情報は、最終的な目標設定を合意する上での足掛かりとなる合意が得られた場合は「○○を行いたい」等と記載する
<p>日常生活(家庭生活)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ●家事(買い物・調理・掃除・洗濯・ゴミだし等)や花木の手入れやペットの世話等を行っているかを確認する●預貯金の出し入れや住居の管理等についても確認 					
<p>社会参加、対人関係・コミュニケーションについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ●家族や近隣・友人との交流状況や、関係を保つことができるか等●仕事やボランティア活動活動、老人クラブや町会等の参加状況●家庭内や地域での役割があるか ●趣味や楽しみがあり続けられているか等 					
<p>健康管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> ●入浴やシャワーの状況●肌、顔、歯、爪等の手入れ●健康のために食事や運動等の管理を行うこと●服薬、定期受診、飲酒や喫煙等の自己管理●食事・水分・排泄状況(回数や量等) 					
<p>その他の事項について</p> <ul style="list-style-type: none"> ●経済や住宅の状況、家族の状況等、上記4項目に該当しない項目で、必要と思われることについて確認する 					

この項目は専門家としての判断を記入する